

問い合わせ先

第四管区海上保安本部

交通部 整備課長 大場 正美

電話 052-661-1611 (内線 2650)

平成26年12月18日



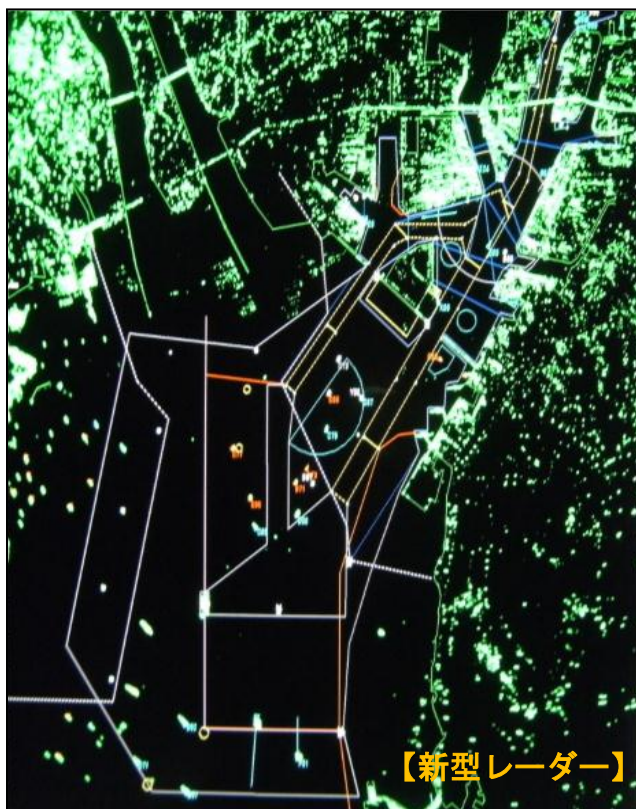
## 新型レーダーで船舶交通の安全性アップ !!

日本を代表する国際貿易港の一つである名古屋港において、船舶の交通管制を担っている名古屋港海上交通センターでは、常時、レーダー等を用いて船舶の動静を把握し、船舶交通の安全に必要な情報提供や指導等を行っています。

11月24日、同センターの機能向上の一環として、開局以来約20年間使用してきたレーダー装置を交換し、新型の省電力・高性能レーダーを導入しました。

この新型レーダーでは、豪雨や波浪などの気象海象の影響を低減するとともに、映像がより鮮明になったことから、船舶の動静把握を一層確実に実施できるようになりました。これにより、最大約130隻の船舶が輻輳する名古屋港周辺海域において、船舶交通の安全性の向上が期待されます。

### 【レーダー画面の比較（映像の鮮明化）】

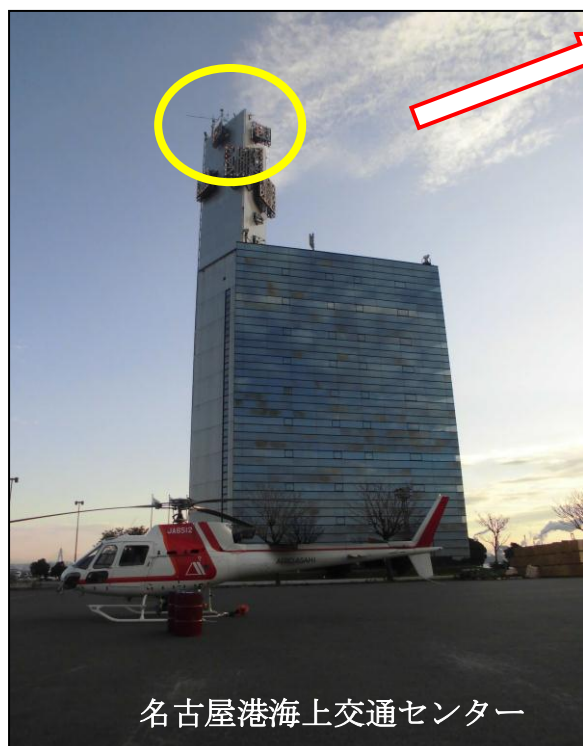


※ 新型レーダーでは、波による海面反射エコーが激減し、映像がスッキリ・クッキリしています。

## 《参考》

### 【レーダーアンテナ交換工事（11月22～24日）】

ヘリコプターを使用して、地上高79mに設置されている大型アンテナを新型（幅5.8m、重量480kg）に交換しました。



名古屋港海上交通センター



### 【レーダーの性能比較】

	新型レーダー	旧型レーダー
送信出力	350 [W]	40,000 [W]
送信周波数	(近距離用) 13.84 [GHz] (遠距離用) 13.86 [GHz] ※近距離：2.3海里以内	13.85 [GHz]
発振素子	水晶発振子とトランジスタの集積回路	マグネトロン
有効範囲	20 [km]	20 [km]
消費電力	1,703 [VA]	2,075 [VA]
信号処理	デジタル	アナログ
備考	信号のデジタル処理化に伴い、レーダー電波の海面や雨などによる反射を低減し、レーダー映像がより鮮明となります。	